

3. 永遠のライバル

へいあんじだいいぜん にほんぶんか
平安時代以前の日本文化
は、ちゅうごく ちょうせん つよ
中国や朝鮮から強い
えいきょう う
影響を受けていました。し
かし へいあんじだい
平安時代になると、
にほん ふうど せいかつ
日本の風土や生活にあった



ぶんか つく
文化が作られるようになりました。その一つは ひと かな も じ
仮名文字です。それま
では ちゅうごく つた かんじ もち にほんご か
中国から伝わった漢字だけを用いて日本語を書いていた
けれども、かんじ にほんご めいかく あらわ むずか
漢字のみで日本語を明確に表すことは難しく、そこで
へいあんじだい ひとびと かんじ かな も じ つく だ
平安時代の人々は漢字をもとにして仮名文字を作り出しました。
かな も じ
仮名文字ができてはじめて自由に日本語を使って文を書き 表すこと
がでさるようになりました。その結果*、へいあんじだい かな も じ つく
平安時代には仮名文字を使
って、じょせいたち いろいろ ぶんがくさくひん か
女性達が色々な文学作品を書くようになりました。へいあんじだい
じょせいさつか い むらさきしきぶ せいしょうなごん
女性作家と言えば、やはり紫式部と清少納言でしょう。

むらさきしきぶ か ちょうへんしょうせつ げんじものがたり いっぽう せいしょうなごん
紫式部が書いた長編小説「源氏物語」、もう一方の清少納言
か ずいひつ まくらのそうし げんざい おお ひと よ
が書いた随筆「枕草子」は現在でも多くの人に読まれています。そ
して、このふたり なか わる かんけい
二人は仲が悪く、ライバル関係にあったとよく言われてい
ます。その理由**は、むらさきしきぶ かのじょ につき なか せいしょうなごん
紫式部が彼女の日記の中で清少納言のことを

あまりよく言^いっていないからです。紫式部^{むらさきしきぶ}は「清少納言^{せいしょうなごん}は得意^{とくい}そう
に漢字^{かんじ}をたくさん使^{つか}って文章^{ぶんしょう}を書^かいているくせに、よくみると間違^{まちが}
いも多い^{おお}し、その知識^{ちしき}はたいしたことはない。人^{ひと}と違^{ちが}うところを見^みせ
たがる人^{ひと}は必^{かなら}ず見劣^{みおと}りし、よい人生^{じんせい}の終^おわりを迎^{むか}えられるわけがな
い。」と清少納言^{せいしょうなごん}を批評^{ひひょう}しています。あまりのひどいコメントに驚^{おどろ}
く人^{ひと}もいるかもしれませんが、一方^{いっぽう}で清少納言^{せいしょうなごん}は紫式部^{むらさきしきぶ}については
何^{なに}も語^{かた}っていません。

実^{じつ}は紫式部^{むらさきしきぶ}が宮仕え^{みやづか}を始^{はじ}める前^{まえ}に、清少納言^{せいしょうなごん}は宮仕え^{みやづか}を終^おえて
いました。ですから、二人^{ふたり}は直接^{ちよくせつあ}会^あったことはなかったので、二人^{ふたり}が
ライバル^{かんけい}関係^{いけん}ではなかったという意見^{いけん}もあります。ですが、紫式部^{むらさきしきぶ}
が宮仕え^{みやづか}を始^{はじ}めた時^{とき}には、清雀^{きよすずめ}納言^{なごん}の「枕草子^{まくらのそうし}」は既^{すで}に評判^{ひょうばん}とな
っていたので、そんな清少納言^{せいしょうなごん}の才能^{さいのう}に紫式部^{むらさきしきぶ}は一方^{いっぽう}的にものすご
いライバル心^{しん}を燃^もやしたのかもしれませんが。もしかすると、紫式部^{むらさきしきぶ}
が清少納言^{せいしょうなごん}をライバルと考^{かんが}えなかつたら、「源民物語^{みなもとたみのものがたり}」が生まれ
ることもなかったのかもしれませんが。ですから、そういう意味^{いみ}では
紫式部^{むらさきしきぶ}にとって清少納言^{せいしょうなごん}は永遠^{えいえん}のライバルだったのでしょう。

単語リスト：

永遠（えいえん） Vĩnh viễn, vĩnh cửu
ライバル Đối thủ cạnh tranh, ganh đua
平安時代（へいあんじだい） Thời kỳ Heian

朝鮮（ちょうせん） Triều Tiên

風土（ふうど） Điều kiện tự nhiên

仮名（かな） Bút danh

紫式部（むらさきしきぶ） Bà Murasaki Shikibu, tác phẩm tiêu biểu “Truyện chàng Genji - 源氏物語”

清少納言（せいしょうなごん） Bà Sei Shounagon, tác phẩm tiêu biểu “Sách gối đầu - 枕草子”

長編小説（ちょうへんしょうせつ） Tiểu thuyết dài tập

見劣り（みおとり） Sự so sánh khập khiễng

批評（ひひょう） Đánh giá, bình luận, phê bình

宮仕え（みやつかえ） Người phục vụ trong cung đình, nữ quan